						カチネヽ	<u> </u>					
車数	車 学 夕	環	竟審諱	经会通	営事業					本年度担当課	環境政策課	
事務事業名										前年度担当課	環境政策課	
基本目標06 美しい自然、環境と調和するまちづくり										新規・継続	継続事業	
政策	政 策	01	環境(こやさ	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業	
体系 施 策 02 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全								事	市単独·国県補	市単独事業		
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	科目 一般 04 01 05 環境審議会運営事業										審議会等運営事業	
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成6年度 ~									市長公約	該当なし	
尹之	未引四		#	十戊	.味り返し		総合戦略	該当なし				
根拠	根拠法令・条例等 環境基本法、佐野市環境基本条例											

1. 事務事業の現状把握【DO】

		事効事未の気外に症 【100】											
_) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)				
	ſ	環境基本法第44条および環境基本条例第24条に基	新型コロナウイルス感染	た症拡え	大防止	のため、	書面によ	る会議の	開催。				
		づく審議会を設置し、環境基本計画に関すること	第2次佐野市環境基本				3年度実	績報告に	ついて				
		等を調査審議する。	・第2次佐野市環境基本計画(改訂版) 実施計画(案)について										
						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			会議の開催回数			1	1	1	1	1			
			ZIIX TIMILLI XX							·			
	T	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
		佐野市環境審議会	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度			
						(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
			委員数		人	15	14	14	15	15			
E	⋾ ├	③意図(この事務事業によって、対象をどのような))									
白		③息凶(この事務事業によって、対象をとのような 環境の保全に関する事項について調査審議する。	:仏忠にしたいのですか?)									
		現現の休主に関する事項に Jいて調査金融する。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			答申数	101	目標	1	1	1	1	1			
				件	実績	0	0						
					目標								
					実績								
	<u>4</u>)	結果(どのような結果に結びつけますか?)											
		自然環境を大切にする心が育成されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
			自然観察会参加者数		目標	215	150	170	190	215			
				人	実績	38	45						
					目標								
					実績								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0	(
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		99		91		0		0		0
		事業費計(A)	千円		99		91		0		0		0
	事			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業					報酬	91						
入	費	事業費の											
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		0.06		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		0		437	0		0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		99		528		0		0		0

事務事業名	環境審議会運営事業	本年度担当課	環境政策課
争伤争未位		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	環境基本法が平成6年に施行され、環境基本法第44条に基づき、佐野市環境審議会を設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	特に変化はしていない。
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特になし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	<u></u>
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	前年度の評価結果が現状維持であったため、取組をしていない。

2. 事務事業の事後評価【Check】

三. 子奶子来吃子医品面 [6]166代			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
「前年度評価結果が「成果向上余 	地がない」のため取組実績なし」		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新型コロナウイルスの感染拡大防 施できなかったため。	正のため自然観察会が一部しか実		

	(.	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	特になし
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0		特になし	
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	カチホヽ	イングン					
車数	マ車 学 夕	森	木環境	学習	事業					本年度担当課	環境政策課	
争物	事務事業名									前年度担当課	環境政策課	
基本目標 06 美しい自然、環境と調和するまちづくり										新規・継続	継続事業	
政策	政策	01	環境に	こや	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業	
体系	施策	02	良好7	な生え	舌環境と豊かな自	自然環境の保全			事	市単独・国県補	助 国県補助事業	
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託	
科目	一般	04	01	05	森林環境学習事		分	事業分類	イベント等開催事業			
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成21年度 ~										市長公約	該当なし	
事:	未引四		#	十段	.深り返し			総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等なし											

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の主な活動内容を記入します。) 事業概要、具体的な事務事業の活動内容・進め方) 森林観察会、森林環境学習講座、生き物観察会等 ・ 空間催し、森林の役割についての理解の促進、環境保護の啓発を図る。 活動指標		. 事份事未以犹依征旌【100】											
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)													
森林観察会、森林環境学習講座、生き物観察会等を開催し、森林の役割についての理解の促進、環境保護の啓発を図る。 活動指標	(手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
を開催し、森林の役割についての理解の促進、環境保護の啓発を図る。 活動指標		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
境保護の啓発を図る。 活動指標		森林観察会、森林環境学習講座、生き物観察会等	・森林観察会 0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)										
活動指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)		を開催し、森林の役割についての理解の促進、環	・生き物観察会 2回										
括別指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (境保護の啓発を図る。											
括別指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (
括別指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (
括別指標 単位 (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (D0 /	D4 == ==		D0 	D7 /			
講座等の開催回数 回 2 2 11 11 11 11 11			活動指標		単位			1 1					
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 市民			建成学の関佐同数										
市民 対象指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R4年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日			再座寺の用作四数		Ш	Z	Z	11	11				
市民 対象指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R4年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日													
市民 対象指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R4年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日		②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています	か?)										
日報		@ 133 (= 1				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
日日的 3意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 自然観察会や森づくり体験活動を通して、森林の大切さについて理解する。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 A株観察会の参加者数 日標 150 110 120 130 150 150 215 150 170 190 215 16 18 18 18 18 18 18 18		11720	対象指標		単位								
日然観察会や森づくり体験活動を通して、森林の大切さについて理解する。			人口		人								
日然観察会や森づくり体験活動を通して、森林の大切さについて理解する。													
日然観察会や森づくり体験活動を通して、森林の大切さについて理解する。	le												
日然観祭会や森づくり体験活動を通じて、森林の大切さについて理解する。		1 ③思凶(この事務事業によつし、対象をとのような	状態にしたいのですか?)									
本林観察会の参加者数 日標 65 40 50 60 65 実績 0 0 110 120 130 150 事績 38 45 45 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 自然環境を大切にする心が育成されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 自然観察会参加者数 人 目標 215 150 170 190 215 実績 38 45 18 18 18 18	ш	自然観祭会や森つくり体験活動を通して、森林の	成里指煙	畄位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
本き物観察会の参加者数 大田標 150 110 120 130 150 150 150 150 150 150 150 150 150 15		★切さについて理解する。		十四									
生き物観察会の参加者 大田標 150 110 120 130 150 (4) 結果(どのような結果に結びつけますか?) 自然環境を大切にする心が育成されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 自然観察会参加者数 人間標 215 150 170 190 215 実績 38 45 45			森林観察会の参加者数	人	<u>目標</u>			50	60	65			
数			よた 知家人の名れる					100	100	150			
④結果(どのような結果に結びつけますか?) 自然環境を大切にする心が育成されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 自然観察会参加者数 人 目標 215 150 170 190 215 実績 38 45 目標				人				120	130	150			
自然環境を大切にする心が育成されている。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 自然観察会参加者数 人 目標 215 150 170 190 215 実績 38 45 目標 日標	0		数		夫領	38	45						
上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R6年度 R7年度 自然観察会参加者数 人 目標 215 150 170 190 215 実績 38 45 目標	(4	THE TEST OF THE TE											
Table 1		日	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
Table 1			自然観察会参加者数	-	目標	215	150	170	190	215			
目標				人			45						
					実績								

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0	0		0		,	
		その他	千円		113		215		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事-	事業費計(A)	千円		113		215		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	書					報償費	210						
入	貝	事業費の				役務費	5						
量													
		争未負の 内訳	千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		0		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		0		0		0	0		0 (
	トータ	ルコスト (A) + (B)	千円		113		215		0		0		0

車	務事業名	森林環境学習事業	本年度担当課	環境政策課
尹	份争未有		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成20年度に「とちぎの元気な森づくり県民税」が導入され、こちらを活用して実施ができる事業を検討した結果、森林観察会を平成21年度から開始することとした。 なお、自然観察会は平成19年度から開始している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	国による2018年度の税制改正で森林環境税と森林環境贈与税の創設を決め、2019年度から森
県などの法令等、社会情勢など) は	林環境贈与税が、2024年度から森林環境贈与税が課税されることとなった。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	自然観察会の参加者から、有意義な内容であったとの意見をいただいている。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

_	(1) 前十及の計画相条に対する数十 家	
	前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持(従来通り実施)	特になし。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
「前年度評価結果が「成果向上余	地がない」のため取組実績なし」		成果向上余地がかなりある
① / 表の成里指標の日標が達成	できた理由 できかかった理由	①日煙達成に向けて	必更とたる取組内突

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	-		0			
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	サ初手木、インノン・1										
市级	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業								本年度担当課	環境政策課
事物	争未石									前年度担当課	環境政策課
	基本目標	06	美しし	ハ自タ	然、環境と調和す	トるまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	01 3	環境(こやさ	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	良好7	な生え	舌環境と豊かな自	自然環境の保全			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	04	01	05	佐野市渡良瀬川	にサケを放する	≷支援事業		分	事業分類	支援事業
車:	* 計画	単年度のみ事業期間				四年062年		市長公約	該当なし		
事業計画		単年度のみ 事業期間 昭和62年度 ~					総合戦略	該当なし			
根拠	根拠法令・条例等										

1. 事務事業の現状把握【DO】

		事務争耒の現仏把佐【№】								
_)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1)=	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
		佐野市渡良瀬川にサケを放す会に補助金を交付し	団体との打ち合わせ							
		、サケの稚魚の一斉放流活動を支援している。	補助金の支払い							
		佐野市渡良瀬川にサケを放す会は、渡良瀬川の浄	サケの発眼卵・稚魚の酢	∂布、⁺	サケの	稚魚放流	、サケの	回帰確認	、環境保	護の啓蒙
		化を目指すとともに、サケを育て観察し触れ合う	活動等に対する補助							
		ことを通し、生き物を育てる心を養い、自然を愛								
		し、親しみ、守ることの意識の向上を図ることを				DO左击	DA左击	DC左击	DC左击	D7左击
		目的とする。	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			補助金の交付回数			<u>(天限)</u> 1	<u>(天限)</u> 1	<u>(日1宗)</u> 1	<u>(日<i>1</i>宗)</u> 1	<u>(日1宗/</u> 1
			開助並の人自自教		<u> </u>					-
	1	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	Ī	佐野市渡良瀬川にサケを放す会			単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			対象指標	甲四	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
			団体数		団体	1	1	1	1	1
E	⋾├	②立□ /= ○主水主米に ! ~ 1/4 + !! ○ ! これ	John L. C. C.							
台	αL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	,)						
		団体の活動を通して、自然保護活動と環境学習を 推進する。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			サケの卵の配布回数	回	目標	1	1	1	1	1
				121	実績	1	1			
			サケの稚魚の放流回数	回	目標	1	1			
	1	は田(じのトミれは田にはびのはませれる)			実績	<u> </u>	l l			
16	~_:	結果(どのような結果に結びつけますか?) 典かな点殊環境が得る。 またされている								
		豊かな自然環境が保全、再生されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			自然環境が良好と考え	%	目標	67. 3	67. 3	68	69	70
			ている市民の割合	/0	実績	66. 4	67. 3			
					目標					
					実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年	度(3	実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)						
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0						
		県支出金	千円		0			0		0		0		0						
		地方債	千円		0			0		0		0		0						
		その他	千円		0			0		0		0		0						
		一般財源	千円	28				28		0		0		0						
	事	事業費計(A)	千円		28			28		0		0		0						
				項目	事業費	項	<u> </u>	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費						
投	業費					負担金、	補助及び	28												
入	貝	事業費の																		
量																				
			千円			•••••														
		内訳																		
	싰	職員従事工数	人工		0			0. 01		0		0		0						
	費	人件費計(B)	千円		0	73		73		0		0		0						
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		28			101		0		0		0						

事務事業	佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業	本年度担当課	環境政策課
尹衍尹未		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和57年2月に「佐野市渡良瀬川にサケを放す会」が設立され、昭和62年から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	平成29年は秋サケが不良のため、団体ではサケの発眼卵を入手することができなかった。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	団体からは、補助を継続してほしいとの要望がある。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

()	H
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Check】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
「前年度評価結果が「成果向上余	地がない」のため取組実績なし」		成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
		成	果向上余	地		

					 1	ルナヘヽ	11/				
事務事業名とちぎ環境・みどり推進機構参画事業										本年度担当課	農山村振興課
す が	争未有							前年度担当課	農山村振興課		
基本目標 06 美しい自然、環境と調和するまちづくり										新規・継続	継続事業
政策	政策	01	環境(こやさ	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	良好	な生活	舌環境と豊かな自	自然環境の保全			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	02	自然B	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	06	02	01	とちぎ環境・み	どり推進機構参	多画事業		分	事業分類	参画事業
車:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 昭和25年度 ~									市長公約	該当なし
尹:	未引四		+	十戊	深り返し		総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等									

1. 事務事業の現状把握【DO】

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
_	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
\mathbb{I}	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度		(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	本機構は、栃木県内の市町や林業関係団体等が会	機構への負担金を支出した。 機構より森林・山村多面的機能発揮事業の情報の提供を受けた。										
	員となって、県域の緑づくり・森づくり業務、林							0				
	業労働力対策に取り組む団体として、森林の保全	機構主催の『森林経営管	官埋制度	芟 事業。	事の研	修会に参	加した。					
	・整備事業や林業労働力の確保・育成事業などを 実施している。											
	大心している。											
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
		講習会の参加			3	3	4	4	4			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	⁻ か?)			D0 	D4 5- 5-	DC 4- d-	D0 	D7 /			
	とちぎ環境・みどり推進機構	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)			
		会員数		人	106	106	106	106	106			
		ARX			100	100	100	100	100			
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	: 状態にしたいのですか?	')									
נם	機構の研修等の活動が活発になり、会員が知識等 を習得する	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		講習会等で得た知識を	件	目標	4	4	4	4	4			
		活用できる件数	IT	実績	1	3						
				目標								
a	 (ドのトラかは用にはびつけませから)			実績								
4	結果(どのような結果に結びつけますか?) 「豊かな里山林の環境が保全される											
	豆パイメ 王山仲が塚児バ休土でイルの 	上位成果指標	単位	\vee	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		里山林整備面積(単年	ha	目標	10	10	10	10	10			
		度)	114	実績	16. 2	0						
				目標								
				実績								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年月	度(実	[績]	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0			0		0		0		0
		県支出金	千円		0			0		0		0		0
		地方債	千円		0			0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••		0		0		0		0
		一般財源	千円		0			60		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0			60		0		0		0
	業			項目	事業費	項目		事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	事業費の				負担金、補具	助及び	60						
入	艮													
量														
			千円											
		内訳												
	싰	職員従事工数	人工		0			0. 01		0		0	0	
	骨費	人件費計(B)	千円		0			73		0	0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0			133		0		0		0

事務事業名	とちぎ環境・みどり推進機構参画事業	本年度担当課	農山村振興課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	県土緑化運動を推進する母体として、前身となる団体が昭和25年4月に設立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	これまでの木材価格の低迷により、林業従事者が減少している。また里山林が荒廃している。森林経営管理制度が開始された。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相条に対する数十 家	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事物事業の事及計画【の10001】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地	がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
研修に参加することで、森林経営 きた。	管理制度の理解を深めることがで		

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大	T	小		
		成	果向上余	地		

					· ·	ルナヘヽ	1 / / -				
車級	事業名	葛	生森杉	木公園	管理事業					本年度担当課	農山村振興課
丁 奶	尹未有									前年度担当課	農山村振興課
	基本目標	06	美し	い自然	然、環境と調和す		新規・継続	継続事業			
政策	政策	01	環境(こや	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	良好	な生活	舌環境と豊かな自	目然環境の保全			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	02	自然B	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	06	02	01	葛生森林公園管	理事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車÷	業計画		111	i 任 由	繰り返し	~		市長公約	該当なし		
尹 2	未引四		+	十段	.味り返し		総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条	例等	佐里	予市葛	§生森林公園条例						

1. 事務事業の現状把握【DO】

	→務争耒の現状把握【Ͷ】								
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>	
	森林による緑豊かな生活環境・自然環境の保全を	葛生森林公園の維持管理	₫						
	図り、森林レクリエーションや自然体験学習、健	公園内の除草業務	を託 しょうしょう こうしょう こうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう しゅうしゅう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ し	2 0	日間(7.	月~10	月)		
	康づくりの場を提供するため、公園内の除草及び	・トイレ清掃業務委託	ŧ	-	毎月8回				
	トイレ清掃の委託、浄化槽管理の委託を行う	• 浄化槽管理業務委託	ŧ	定	朝点検				
		活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度
					(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		施設の修繕回数		П	0	1	1	1	1
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-tv 2)							
	公外家(この事務事業は誰・何を対象としています 森林公園施設		Т		D2年由	D/左庄	R5年度	R6年度	R7年度
	林怀公园旭改	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		施設の修繕すべき箇所		箇所	(大順)	(大順)	<u>(口1示)</u> 1	<u>(口1示)</u> 1	1
		心成り沙情が、こ回が		回加					
_									
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	、 状態にしたいのですか?	·)						
的	葛生森林公園を市民が快適かつ安全な利用できる				D0	D4 = ±	DF 4- 4-	D0	57
	状態に維持する	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		施設に安全性に対する	件	目標	0	0	0	0	0
		苦情	11	実績	0	0			
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	市内の豊かな自然生態系の保全、再生を図る。 	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		里山林の整備面積(単	L .	目標	10	10	10	10	10
		年度)	ha	実績	16. 2	0			
				目標					
				実績					
1	2) 松東業界の堆段・内記								

		ポティススマンル	_ !/	10/1									
		財源内訳	単位	R3年度(第	€績)	R4年度(到	€績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0	0			
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		1, 015		1, 582		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		1, 015		1, 582		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未 曹					委託料	1, 133						
ᄉ	貝	事業費の				需用費	373						
量						使用料及び賃借料	34						
		中未負の内訳	千円			役務費	33						
		內訳				公課費	9						
	싰	職員従事工数	人工		0		0.06		0	0) (
	件費	人件費計(B)	千円		0		437		0		0	-	0
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		1, 015		2, 019		0		0		0

ſ	事務事業名	葛生森林公園管理事業	本年度担当課	農山村振興課
ı	尹衍尹未位		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	栃木県が山地治山施設県単事業(保安林等整備)にて森林公園を整備し、H8年4月より葛生町による管理が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は	展望台や野外卓については、H27年度に整備を行ったが、階段等の老巧化が進んでいる。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	H ** - Kvile
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

Z. 争労争未の争抜計価【GIRCK】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
前年度評価結果が「成果向上余地 	がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			
従前より破損していた管理用道路	の舗装を修繕することができた				

			/ NO 1 ロ C -	フレスマノノコト	IT [NOTION]	
	(1)事務	事業の評価	価結果 -	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大			0	現状維持(従来通り実施)	
E	┖				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
村	首中					
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

	サカザ木・バングン・1										
環境緑化基金積立金 事務事業名								本年度担当課	農山村振興課		
事 75	尹未石									前年度担当課	
	基本目標	06	美し	い自	然、環境と調和す	^ト るまちづくり	るまちづくり			新規・継続	新規事業
政策	政策	01	環境	にや	さしいまちづくり	J		実施計画・一般			
体系	施策	02	良好	な生	活環境と豊かな自	目然環境の保全		事	市単独・国県補助	ታ	
	基本事業	02)2 自然環境の保全							任意・義務	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	
科目	一般	06	02	01	環境緑化基金積	立金			分	事業分類	
車:	* 라 파		市光 和日							市長公約	
事業計画 事業期間 ~							総合戦略				
根拠	去令・条件	列等	F								

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

_ (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	₹)	
	環境緑化基金への積立								
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
					()(1)()	()(1)()	((III)	(
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
		対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度		R7年度
		V13V1D1V		+4	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
目	│ │③意図(この事務事業によって、対象をどのような)						
的	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				目標					
				実績					
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
						, ,,,			, ,,
				目標 実績					
				日標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円	0			0		0		0		0
		その他	千円	0			0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝	事業費の											
量													
			千円										
		内訳											
	人	職員従事工数	人工		0		0		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		0		0		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		0		0		0		0

ſ	車	環境緑化基金積立金	本年度担当課	農山村振興課
ı	尹伤尹未石		前年度担当課	

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() 13 1 X 3 11 Maria () 3 7 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【Check】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
10 4 まの代用や煙の口煙が支け	<u> </u>	の日標法ポルウはて	必要したで限知中家			
■ ⑩A表の成果指標の目標が達成	じさに珪田、じさなかつに珪田	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目	大				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度	小					
		大成	中 果向上余	小 地		

					 1	ルナヘヽ	1.77					
車型	§事業名	明る	るく 妄	そ全な	(里山林の整備事		本年度担当課	農山村振興課				
争的											農山村振興課	
	基本目標	06	美しし	ハ自タ	然、環境と調和す			新規・継続	継続事業			
政策 政 策 01 環境にやさしいまちづくり										実施計画・一般	実計計画事業	
体系 施 策 02 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全									事	市単独・国県補	助国県補助事業	
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	06	02	02	明るく安全な里	山林の整備事業	ž		分	事業分類	支援事業	
車	市長公約 5-④											
す :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成20年度 ~ 令和9年度 総合戦略 該当なし											
根拠:	法令・条例	列等	とち	ぎσ	元気な森づくり	市町村交付金	交付要綱					

1. 事務事業の現状把握【DO】

	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標												
_													
la)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)						·	-					
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)											
	とちっぎの元気な森づくり県民税事業を財源とし	里山林管理事業 : 交付期間満了分 17団体 102.7ha											
	て、森づくり団体が事業主体となって里山林を再	森林・山村多面的機能発揮対策事業 : 2団体 19.4ha											
	生させる森林整備事業を実施する。												
	・里山林管理事業												
	・森林・山村多面的機能発揮対策事業												
					D0		DF 4- #	D0	D7 4 4				
		活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度				
		整備面積(単年)		ha	<u>(実績)</u> 16.2	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		0	10	10	10								
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か?)											
	佐野市内の人工林		П		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
	在野川内の八工杯	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		整備計画面積(単年)		ha	16. 2	2. 2	10	10	10				
目的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	: 状態にしたいのですか?	')										
T:	里山林の適正な管理を推進する。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		***************************************	丰山					, ,,,	, ~				
		整備済面積/整備計画	%	目標	100	100	100	100	100				
		面積	/ 0	実績	100	0							
				目標									
				実績									
(4	結果(どのような結果に結びつけますか?)												
	手入れのされていない里山林の再生	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		里山林の整備面積(単	ha	目標 実績	10 16. 2	10	10	10	10				
		年度)			10. 2	U							
				目標 実績									
			l	夫領									
,	の) 処古世典の世界 中部												

		財源内訳	単位	R3年度(実	€績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		5, 195		5, 135		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		490	354			0		0		0
	[事業費計(A)	千円		5, 685		5, 489		0		0		0
	· 頁			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投		事業費の 内訳				負担金、補助刀	支び 5,489						
入													
量													
			千円										
		7467											
	슸	職員従事工数	人工		0		0.08		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		583	·	0	0		0 0	
	トーち	タルコスト (A) + (B)	千円		5, 685		6, 072		0		0		0

	事務事業名	明るく安全な里山林の整備事業	本年度担当課	農山村振興課
١	尹份尹未有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	材価の低迷や山で働く人の減少により、山の手入れが行われず荒廃した森林が増え、公益的機能が低下しつつある中、平成20年度よりとちぎの元気な森づくり県民税が導入され、事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	災害防止機能や地球温暖化防止対策の観点から、益々森林の持つ役割が重要になっていくと
県などの法令等、社会情勢など)は	考えられる。また、国においても森林の荒廃が進み、森林の公益的機能が十分に発揮できな
事務事業の開始時期と比べてどのように	い状況を踏まえ、森林環境税が導入された。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

1 7 100 1 100 1 101 101 111 111 111 111	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事務事業の事後評価【UNECK】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
新規活動団体が、事務処理の都合。 	上令和5年度からの活動となった	ため	成果向上余地がない
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
新規活動団体が、事務処理の都合 ため	上令和5年度からの活動となった		

_`	, <u> </u>			/ IX 4//J I	THE MOTION	
	(1)事務署	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I	▮				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
i F	票 中					
J.	生			0		
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

	子切ず木、パンノンーン													
車数	事業名	渡	良瀬川	クリ	リーン運動協議会		本年度担当課	道路河川課						
争物	争未石						前年度担当課	道路河川課						
	基本目標	06	美し	い自然	然、環境と調和す			新規・継続	継続事業					
政策	政策	01	環境(こや	さしいまちづくり			実施計画・一般	一般事業					
体系	施策	02	良好	な生活	舌環境と豊かな自		事	市単独・国県補	市単独事業					
	基本事業	02	自然B	環境(の保全				業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営			
科目	一般	08	03	01	渡良瀬川クリー	ン運動協議会参	多画事業		分	事業分類	支援事業			
車:	東番記画 労佐寿婦以客」 東番期間 東ば0佐寿 市長公約 該当なし													
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成9年度 ~													
根拠	法令·条	例等	渡良	シ瀬川 かんりょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ しゅうしゃ しゃ し	lクリーン運動協	議会規則								

	1 .	事務事業の現状把握【DO】								
	(-	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>	
		渡良瀬川クリーン運動協議会に構成員として参加	(市の活動)							
		し、会費として負担金を支出する。協議会主催の	渡良瀬クリーン運動協議							
		会議に出席し、毎年5月に渡良瀬川一斉清掃を実	内3箇所を会場に、渡り				。本年度	は、感染	症対策で	中止。
		施する。	(渡良瀬川クリーン運動							
			会議(1回/年)を主催					している	但し、本	年度の清
		※渡良瀬川クリーン運動協議会とは、渡良瀬川流	掃活動は、感染症対策を	r 鑑み、	中止			DC左☆	D0 4- ch	D7 /= ris
		域の河川環境を確保することを目的とし、渡良瀬田河川東森寺・群馬県・特古県の山佐郡駅・沿出	活動指標		単位	R3年度			R6年度	R7年度
		川河川事務所、群馬県・栃木県の出先機関、沿川 市町、漁業組合を会員として構成する団体である	活動回数			<u>(実績)</u> 1	<u>(実績)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2	<u>(目標)</u> 2
			/ 1		쁘	1				
		•								
		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	-か?)							
	ŀ	一級河川渡良瀬川		П	*** / 1	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			渡良瀬川の延長		km	107	107	107	107	107
ı	₽									
	557 L	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
ľ		渡良瀬川一斉清掃に市民が参加することにより、	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		河川環境保全の重要性が意識付けされ、河川環境				, , , ,				
		を保全する活動が促進される。	参加人数(市内)	人	目標実績	0	400	420	450	470
			 ゴミ収集量(市内、2		日標	0	4	4	4	4
			1 ~ 秋米里(川内、2 1 t トラック)	台	実績	0	0	7	7	
(4);	結果(どのような結果に結びつけますか?)			人根					
	ان ا	公害の発生を未然に防止するとともに、公害の発				D0 5- 5-	D4 ===	DE 4- 4-	D0 = =	D7.4
		生源対策を講じ、良好な生活環境を保全する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			河川・地下水の水質の	%	目標		99. 5	99. 5	99. 5	99. 5
			環境基準達成	70	実績		98			
					目標					
					実績					
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0	0			0		0
		一般財源	千円		0	0			0		0		0
	半 業 典	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投													
入	艮												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数 人工 0 0.04			0		0		0				
	件費	人件費計(B)	千円		0		291		0	0		0	
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		291		0		0		0

ſ	事務事業名	渡良瀬川クリーン運動協議会参画事業	本年度担当課	道路河川課
ı	争伤争未有		前年度担当課	道路河川課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成7年に渡良瀬川の環境を保全するために、河川管理者である国土交通省と渡良瀬河川事務所管内の沿川市町を中心に、清掃活動を実施した。平成9年には、本協議会が設立され、本市も参画した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	清掃活動はボランティアに頼っており、参加者が高齢化している。
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特記事項なし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相系に対する数十一次	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

Z. 争労争未の争復計画【GIRCK】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	各種同盟会・協議会参画事業	成果向上余地がない	取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
前年度評価結果が「成果向上余地	がない」ため取組実績なし		成果向上余地がない			
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

(1)事務事業の評			事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

	<u> </u>										
中 3公	本学力	_{主業名} 佐野市河川愛護会支援事業								本年度担当課	道路河川課
事務事業名								前年度担当課	道路河川課		
	基本目標	06	美し	い自然	然、環境と調和す	けるまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	01	環境(こやさ	さしいまちづくり	いまちづくり				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	良好	な生活	舌環境と豊かな自	環境と豊かな自然環境の保全					市単独事業
	基本事業 02 自然環境の保全					業	任意・義務	任意的事業			
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	08	03	01	佐野市河川愛護	会支援事業			分	事業分類	支援事業
車:	**計画	- 第二年後以下 東米期間 東ボ17年度 - 1					·		市長公約	該当なし	
尹之	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~						総合戦略	該当なし			
根拠》	法令・条	例等	佐里	予市 沪]川愛護会運営補	助金交付要領	-			-	

1. 事務事業の現状把握【DO】

•	1.	事務事業の現状把握【DO】									
	(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
	1):	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)						<u></u> })		
		佐野市河川愛護会に補助金を支出して支援する。	(市の活動)								
			佐野市河川愛護会に補助		支出し.	、愛護会	活動を支	援する。			
		※佐野市河川愛護会とは、市内河川の維持保全の	(佐野市河川愛護会の流								
		ため、河川愛護活動を促進することを目的とし、	事務局:清掃用のゴミ袋						植 報台書	のとりま	
		市長が会長となり、市内全世帯が会員として構成している団体である。	とめ、上部団体である机 支部:清掃活動(年1回			川変護云	建合芸へ	の報音。			
		している国体である。		1.24		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
			主な普通河川の延長		km	86	86	86	86	86	
L											
	H	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	[か?)								
		佐野市河川愛護会	対象指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度	
			愛護会活動参加団体数		団体	<u>(実績)</u> 40	(実績) 40	<u>(目標)</u> 50	<u>(目標)</u> 50	<u>(目標)</u> 50	
			<u> </u>		凹冲	40	40	30	50	30	
	則	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	: :状態にしたいのですか?	')							
ŀ		佐野市河川愛護会を支援することにより、参加団				DO左曲	DA左击	DC左曲	DC左曲	D7 /= ==	
		体(町会)による自主的な河川環境保全活動を促	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		進する。	愛護会活動実施延長	km	目標		80	90	100	110	
				13111	実績	59	61				
					目標実績						
H		結果 (どのような結果に結びつけますか?)			天視						
ľ		公害の発生を未然に防止するとともに、公害の発									
		生源対策を講じ、良好な生活環境を保全する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			河川・地下水の水質の	%	目標		99. 5	99. 5	99. 5	99. 5	
			環境基準達成	%	実績		98				
					目標						
					実績						
	, .	ン、松声世帯の世段。 中国									

`		やナベス・バル	- 17	311/									
		財源内訳	単位	R3年度(乳	実績)	R4年度((実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		470		470		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		470		470		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	書					負担金、補助及	び 470						
ᄉ	早	事業費の											
量	<u> </u>												
		中未負の内訳	千円										
		7664											
	싰	職員従事工数	人工		0		0. 25		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		1, 822		0		0		0
	1-7	タルコスト (A) + (B)	千円		470		2, 292		0		0		0

車数7	上 佐野市河川愛護会支援事業	本年度担当課	道路河川課
事伤	#未有	前年度担当課	道路河川課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	昭和59年栃木県河川愛護会連合会の発足に伴い、合併前の市町において発足した河川愛護会をそれぞれの市町が支援していたものを継承した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	各支部(町会)の活動参加者が高齢化している。
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	特記事項なし。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 前十及の計画相条に対する数十 家	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争伤争未の争復計価【GIBCK】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない	佐野市道路愛護会支援事業等	成果向上余地がない	取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
前年度評価結果が「成果向上余地	がない」ため取組実績なし		成果向上余地がない			
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	DTA \	ハンハンド・	/	-		
車型	対車学々	保:	安林付	は採 ぎ	F可等事務					本年度担当課	農山村振興課
事務事業名										前年度担当課	農山村振興課
基本目標06 美しい自然、環境と調和するまちづくり										新規・継続	継続事業
政策	政 策	01	環境に	こやさ	さしいまちづくり			実施計画・一般	一般事業		
体系	体系 施 策 02 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全									市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	義務的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	ХХ	XX	хх	保安林伐採許可	等事務			分	事業分類	許認可・審査事務
車.	業計画		出	午由	繰り返し			市長公約	該当なし		
す :	未可凹		#	総合戦略	該当なし						
根拠	法令・条	列等	森材	ҟ法							

1. 事務事業の現状把握【DO】

1	. 事務事業の現状把握【DO】											
(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
(手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)				
	森林の多様な公益的機能の維持増進のため、森林	森林法に基づく森林の伝			及び許可	事務						
	法では伐採及び伐採後の造林が適正に行われるよ	※森林経営計画に伴う		除く								
	うに、森林の伐採や土地の形質変更をする際、届	• 普通林 … 届出23件				40111 11		4 451				
	出又は許可申請をすることとなっています。	・保安林 … 伐採許可						1件、				
	形質変更協議 1件、その他の届出16件 〇森林法に基づく届け出及び許可											
	※通林…森林注第10条の8 15条 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度											
	保安林…森林法第34条第1項、第2項	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)			
	MATE WITH AND INVALID AT MEETING	伐採等の届出件数		件	92	58	80	80	80			
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)										
	市内の人工林面積	対象指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度			
		して仕工徒		(実績) 11.937	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		人工林面積	ha	11, 937	11, 937	11, 937	11, 937	11, 937				
	1(3)声以((1)半級半辛によって 対策をといてう)	・ は状態にしたいのですか?)									
的	森林の無届伐採を防ぐ			ΓZ	D0 /= ri=	D4 #= #=	DC 선 선	DC 4= rts	D7 /= ri=			
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		市内の人工林のうち無	ha	目標	0	0	0	0	0			
		届伐採面積	114	実績	0	0						
				目標								
				実績								
١	結果(どのような結果に結びつけますか?) 林業の活性化を図る。											
	体来の活性化を図る。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		間伐実施面積(単年度		目標	609	270	345	420	495			
)	ha	実績	234	285						
				目標								
				実績								
,	2) 終事業費の推移・内部											

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0	0		0		0	
		地方債	千円		0		0	0			0		0
		その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円		0	0			0		0		0
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費	事業費の											
入	貝												
量													
			千円			•••••							
		内訳											
						•••••							
	人	職員従事工数	人工		0		0.1		0		0	0	
	件	人件費計(B)	千円		0		729		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		729		0		0		0

事務事業名	保安林伐採許可等事務	本年度担当課	農山村振興課
争伤争未 有		前年度担当課	農山村振興課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	戦後荒廃した森林での自然災害が発生したころから、森林法は昭和26年に改正され、民有林 の伐採規制が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	荒廃した森林に植林された針葉樹が伐採適期を迎えたが、手入れのされていない森林が増加している。また、森林の適正な管理と事務執行に資するため、平成20年度に保安林等の伐採許可申請事務が栃木県から権限移譲された。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はあるが、統合・連 携できない			取組むことができなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
前年度評価結果が「成果向上余地 	がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
適切な指導ができたため			

			/ NO 1 ロ C -	フレスマノノコト	IT [NOTION]	
	(1)事務	事業の評価	価結果 -	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目標達成	大	-		0	現状維持(従来通り実施)	
	┖				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	首中					
B	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車務車業マネジメントシート

						DTA \	<u> </u>	/				
車数	z 車 柴 夕	基均	也等紹	E営計	F可事務					本年度担当課	環境政策課	
争狄	事務事業名									前年度担当課	環境政策課	
	基本目標	06	美しし	ハ自タ	然、環境と調和す			新規・継続	継続事業			
政策	政策	01	環境Ⅰ	こやさ	さしいまちづくり			実施計画・一般	一般事業			
体系 施 策 02 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全										市単独・国県補助	市単独事業	
	基本事業	02	自然理	環境(の保全				業	任意・義務	義務的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	一般	ХХ	XX	XX	墓地等経営許可	事務			分	事業分類	許認可·審査事務	
車:	* 라 파		出	ケロ	:编儿语!		市長公約	該当なし				
尹	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成12年度 ~ 一											
根拠	法令・条件	列等	墓地	也、坦	里葬等に関する法	律 佐野市墓地	也、埋葬等に関する流	法律施行 細	則			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標												
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>})</u>					
	墓地、埋葬等に関する法律に基づく、墓地、納骨	墓地経営の許可申請の審査											
	堂、火葬場の経営の許可事務を行う、	墓地経営の許可申請に係る相談											
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		許可申請の処理件数		件	<u>大順</u>	(大 順)	1	1	1				
		許可申請に係る相談		件	1	2	1	1	1				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)											
	墓地等の経営(変更、廃止)の許可申請者	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
			. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)					
		許可申請件数		件	I	0	I	I	I				
目	□ ③意図(この事務事業によって、対象をどのような	」 :状態にしたいのですか?	')										
的	許可申請に対する許可、不許可の決定				D0	245	25	D0 = +	D7 4				
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		許可、不許可件数	件	目標	0	1	1	1	1				
			П	実績	0	0							
				目標									
	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			実績									
4													
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		住みやすさに満足して	%	目標		65. 7	67	68	69				
		いる住民の割合	70	実績	66. 7	65. 7							
				目標									
				実績									

		財源内訳	単位	R3年度((実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0	0		0		0			0
		地方債	千円		0	0			0		0		0
		その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円		0	0			0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	事業費の 内訳											
^													
量													
			千円										
		7/01/											
	ᇫ	職員従事工数	人工		0			0		0		0	
	費	人件費計(B)	千円		0		510		0	0		0	
	トーケ	-タルコスト(A)+(B) 千円 0			510		0		0		0		

事務事業名	墓地等経営許可事務	本年度担当課	環境政策課
尹仍尹未有		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	事務の権限移譲により、平成12年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか? ③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() 13 1 X 3 11 Maria () 3 7 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于初于木砂子区时间【01100代】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない			取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
成果向上余地ががないため 成果向上余地がない 成果向上余地がない						
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			

⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成果向上余地				

	<u> </u>										
車級	自	自然環境保全地域事務							本年度担当課	環境政策課	
事務事業名									前年度担当課	環境政策課	
	基本目標	06	美し	ハ自タ	然、環境と調和す	^ト るまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	01	環境(こやさ	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	良好	な生え	舌環境と豊かな自	目然環境の保全			事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	02	自然B	環境(の保全				業	任意・義務	義務的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	一般	ХХ	XX	XX	自然環境保全地	域事務			分	事業分類	許認可・審査事務
事業計画単年度繰り返し			中华中田	昭和62年度 ~			市長公約	該当なし			
事未計画 単十段様り返し				深り返し	事業期間	旧和02年及~			総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 自然環境保全法 栃木県自然環境の保全及び緑化に関する条例										

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	自然環境保全法で定める自然環境保全地域の内、	自然環境保全区域の確認	然環境保全区域の確認、相談						
	特別地区の許可事務および普通地区における届出								
	事務を行う。								
					D0		D= -		D= -
		活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度
				件	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		許可申請の処理件数 届出の処理件数		<u>1+</u> 件		0	1	1	1
		油山のだ生け数		П		0			'
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	ーか?)							
	自然環境保全地域			227.17	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	許可申請者	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	届出者	自然環境保全区域の面積	E Į	ha 2	, 250. 322	, 250. 322	, 250. 322	, 250. 322	, 250. 32
		許可申請件数		件	0	0	0	0	0
目		届出件数		件	0	0	0	0	0
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)						
	自然環境保全地域	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	許可申請に対する許可、不許可の決定						^		
	届出の事務処理	許可申請に対する許可	件	目標実績	0	0	0	0	0
		<u>、不許可の件数</u> 届出の処理件数		<u>夫領</u> 目標	0	0	0	0	0
		油山の地理下数	件	実績	0	0	U	0	-
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)			人似					
	豊かな自然環境が保全、再生されている。		22/ /		D0 4= r4=	DACE		DC 4= 15	D7 /= r/=
		上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		自然環境が良好と思っ	%	目標	67. 3	67. 3	68	69	70
		ている市民の割合	70	実績	66. 4	67. 3			
				目標					
				実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0	0			
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝												
量	1	古米串の											
		事業費の	千円										
		内訳											
	7	職員従事工数	人工		0		0.04		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円	0			291		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		0		291		0		0		0

事務事業名	自然環境保全地域事務	本年度担当課	環境政策課
争伤争未有		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	事務の権限移譲により、平成22年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国 県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか′	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() 13 1 X 3 11 Maria () 3 7 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地				
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない				
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果				
類似事務事業はない			取組むことができなかった				
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地				
成果向上余地がないため 成果向上余地がないため 成果向上余地がない							
①A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容				

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	T	小		
	成果向上余地			地		

市级	本来力	自然	松公園	事務	务					本年度担当課	環境政策課
す が	事務事業名							前年度担当課	環境政策課		
	基本目標	06	美しし	ハ自タ	然、環境と調和す	トるまちづくり				新規・継続	継続事業
政策	政策	01 3	環境Ⅰ	こやさ	さしいまちづくり	J				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02 .	良好	な生え	舌環境と豊かな自	境と豊かな自然環境の保全					市単独事業
	基本事業	02	自然理	環境(の保全			当	業	任意・義務	義務的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名	[2	ᆇ	実施方法	直営
科目	一般	хх	XX	XX	自然公園事務			5	分	事業分類	許認可・審査事務
車:	*	4. 一					市長公約	該当なし			
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成22年度 ~							総合戦略	該当なし		
根拠	法令・条件	列等	自然	公是	法 栃木県立自	然公園条例				_	

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標									
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	<u>!)</u>		
	自然公園法で定める特別保護地区、特別地域、普	特別地域の許可事務及び	特別地域の許可事務及び普通地域の届出事務の相談							
	通地域の内、特別地域における許可事務および普									
	通地域における届出事務を行う。									
					D0 	D4 == ==		D0 = =	D7 /- /-	
		活動指標		単位	R3年度		R5年度	R6年度	R7年度	
		 許可申請の処理件数		件	<u>(実績)</u> 1	<u>(実績)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	<u>(目標)</u> 1	
		届出の処理件数		件	1	0	1	1	1	
		温田のた在日気		- 11	•	- V			-	
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)								
	自然公園			14 /L	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	許可申請者	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
	届出者	県立自然公園の面積		ha	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010	1, 010	
		許可申請件数		件	1	1	1	1	1	
目		届出件数		件	1	0	1	1	1	
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)							
	自然環境保全地域の保全 許可申請に対する許可、不許可の決定	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	届出の事務処理	許可申請に対する許可		目標	0	0	0	0	0	
	福田マテツルで	/不許可件数	件	実績	0	1				
		届出の処理件数	Iμ	目標	0	0	0	0	0	
			件	実績	1	0				
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)									
	豊かな自然環境が保全、再生されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		自然環境が良好と思っ	%	目標	67. 3	67. 3	68	69	70	
		ている市民の割合	9/0	実績	66. 4	67. 3				
				目標						
				実績						

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5年度(目標)	R6年度	(目標)	R 7 年度(目標)
		国庫支出金	千円	0			0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
				項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	業費												
入	貝												
量	<u> </u>	古光串の											
		事業費の	千円										
		内訳											
	Ÿ	職員従事工数	人工		0		0.09		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		0		656	0 0		0	0		
	h-/	タルコスト(A)+(B)	千円		0		656		0		0		0

	· · · · ·		
車	自然公園事務	本年度担当課	環境政策課
争伤争未有		前年度担当課	環境政策課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	事務の権限移譲により、平成22年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	
県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	
関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(· / lis Ø c li							
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組						
前午及び計画相木	計画相求を支げて引うた共体的な改革 以音の状態						

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない			取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
成果向上余地がないため 成果向上余地がない						
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			

⑩ A 表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容

	(1)事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		